

沼田市立薄根小学校における がん教育の実践

沼田市立薄根小学校 教諭 浅見 敏子

本校のめざす児童像

健康と命の大切さに気付き
生涯を通して自らの健康を適切に
管理できる児童

本校の取組

- ①がんに関する学習（6年）
- ②各教科における学習（全学年）
- ③健康教育
- ④その他の活動

①がんに関する学習（6年）

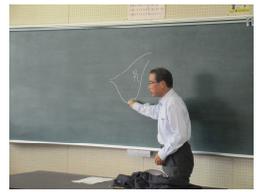
- 保健体育
 - ～生活習慣病の予防～の学習において「がん」について知る。
 - ・日本人の死因の原因の第1位。
 - ・生活習慣病の一つでもある。
 - ・予防するためには、健康に良い生活習慣を子どもの頃から身に付けることが大切。
- 文部科学省補助教材
「小学校版 がん教育プログラム」活用
 - ・がんとはどのような病気？
 - ・がんについて正しく学ぶ



○外部講師によるがん体験講話

☆一学期まで本校で勤務していた方によるがん体験談

- ・ 20年前にがんの告知・手術
- ・ 後遺症と共に生きる（ダンピング症候群）
- ・ がんを患って学んだこと
 - 健康な生活を心がけること
 - 一日一日を大切に今を生きること
 - チャレンジする前向きな姿勢をもつようになったこと



胃の3/4を切った説明



フルマラソンに挑戦した記録紹介

児童の感想より

- がんになっても手術が成功すれば、また元気に生活できる病気。
- 早期発見がとても大切。
- 自分はがんにならないように、生活習慣を整えるなど、できることをしっかりと、がんを予防したい。
- 足や手が動く、目が見える、生きている等は当たり前ではないことと、人は一人では生きていけないことが分かった。
- がんになったのに、いろいろチャレンジしていて、私も見習いたい。
- このような状況でも、人に優しくできる人になりたい。

②各教科における学習（全学年）

○道徳科

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

授業実践

- 1年生－主題：いきていることが 素晴らしい
～「生まれたてのいのち」～
- 5年生－主題：よりよく生きる喜び
～「かぜのでんわ」～



5年生 授業の様子

6年生－主題：せいっぱい生きる～「命のアサガオ」～
授業公開

○本時のねらい

限られた生命を生き抜こうとした光祐君やその思いを受け継ぎたいとアサガオを育てたお母さんの思いから、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。

○授業の流れ

1. 「がんについて」、「命をたいせつにすること」のアンケート結果を見る。
2. 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。
3. 学習のめあてについて振り返り、考える。
4. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

授業の成果と課題

☆成果

- 教科書の資料に載っていたアサガオの種が本校に送られてきていたことを紹介したことにより、児童は自分ごととして考えられた。
- がんの学習や保健講話が生かされていたので、授業の最後のまとめで、生活習慣を整えるという考えが出ていた。
- 授業の最後に、がんの外部講師の学習の時に書いた児童の感想を紹介したので、生命を大切にすること、自分のできることをがんばろうという前向きな気持ちをもつことの大切さを確認でき、本時のよいまとめとなった。

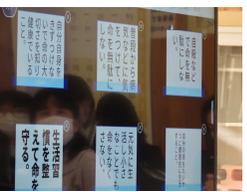
★課題

- 主発問の前に、「限りある命」、「光祐君の頑張り」について確認しておく、命つきるまで頑張った光祐君への母親の思いに気がつかなかったのではないか。
- グループでの比較・検討を行ったが、時間も少なかったためか、考えを交流した後の練り合いが不十分であり、良い考えが取り上げられないグループもあった。

授業の様子



ワークシート記入



グループの考えの比較・検討

本校に届いたアサガオの袋



○学級活動
～群馬県
食に関する手引き参照～
養護教諭と連携して
各学級で指導

4. 学級活動の時間における「食に関する指導」事例

指導事例一覧

学級	題材名	養護教諭の関与	養護教諭の関与	養護教諭の関与	養護教諭の関与	養護教諭の関与	養護教諭の関与
1年	おいしいきゅうりよくばははままよ	○	○	○	○	○	○
2年	おいしいおやつ どんなたべかたがいいのかな	○	○	○	○	○	○
3年	おはよう！ うんち	○	○	○	○	○	○
4年	よくわんで食べよう	○	○	○	○	○	○
5年	一日のスタートは朝ごはんから	○	○	○	○	○	○
6年	健康を考えよう	○	○	○	○	○	○

授業実践

- 1年生一元気のみみつはなあに
- 授業内容・成果
 - ・『ぐんま三兄弟のゆうこ姫を救え！』の読み聞かせしながら、毎日元気に過ごすためにはどんな過ごし方をしたら良いか、を考えた。
 - ・毎日元気よく過ごすために好き嫌いをなく食べようとする意欲が高まった。



- 2年生ーおいしいおやつ どんなたべかたがいいのかな
- 授業内容
 - おいしいおやつの食べ方について考えた。養護教諭とのTTで実施。

3年生—おはよう うんち

○授業内容
毎日、気持ちよくうんちをするためにはどうすれば良いか考えた。
授業参観で実施。

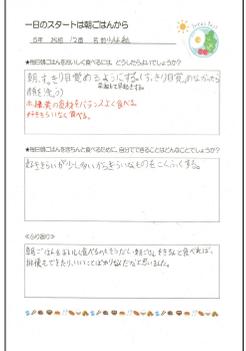
4年生—野菜をおいしく食べよう

○授業内容・成果
給食の残飯量から野菜の好き嫌いに課題を置き、野菜をおいしく食べるための工夫を考えた。細かくして好きな物に入れて食べる、味付けを好きな物にする、実際に作ってみたいなどのふりかえりが出された。



5年生—一日のスタートは朝ご飯から

○授業内容・成果
・一日のスタートである朝食の役割や大切さについて学習し、毎朝おいしく食べるための工夫を考え、自分の朝食のとり方を見直し、生かしたいことをまとめた。
・「朝からバランスよく食べられるように献立を工夫したい」、「早寝・早起きをして朝ごはんをおいしく食べられるようにしたい」など、朝から一日元気よく過ごすために毎日きちんと朝食をとろうとする意欲が高まった。



6年生—健康を考えたおやつ

○授業内容・成果
・「健康に過ごすために、種類や量を考えておやつを食べよう」というねらいをもち、児童が自分の食生活を見直しながら、適切な食べ方について考えた。
・自分の1日のおやつSOS（砂糖、油、塩）を算出することで、どの成分を取り過ぎているのかということが具体的な数値となって理解することができた。また、クラスで算出データをまとめ、本学級では砂糖を多く取り過ぎている児童が多くいることが分かった。



○家庭科

5年生—食べて元気に「食事の役割・栄養素」

6年生—朝食から一日の生活を「栄養バランスを考えよう」

○授業内容・成果
給食センターの栄養教諭とのTTによる、「食事と健康」についての授業を実施。5大栄養素と3つのグループの食品群を覚え、食事でどのくらい食べれば良いか考え、実行することで、健康や自分の理想に近づいた体を作ることを学んだ。



③健康教育

(1) 学校保健委員会
テーマ「未来の自分に元気を届けよう」
保健委員会の児童を中心に活動



令和5年度 保健委員

全校のみんなに元気を届けてくれました

- 1 学期一歯
自分のはみがきのくせを知って、親子でピカピカの歯を目ざそう！！
- 2 学期一排便
うんちは体の中の様子を知らせてくれる、お腹からの大切なおたよりです！ 1
- 3 学期一キッズチャレンジ
イベントが多く、生活習慣が乱れがちな冬休みに、目標を決めて、健康を意識した30日間を過ごそう！！

(2) 命を育む講座

5年生のPTA親子行事として、助産師会の協力を受け、10年以上続けている。講師の方の話を聞いたり、出産模擬体験や抱っこ体験を行ったりしながら、赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどのように成長生まれてくるのかについて、保護者と一緒に学習した。

帰宅後に、自分が生まれた時のことを親子で話したり、母子手帳やへその緒を見せてもらったりした児童も多く、親子のコミュニケーションのきっかけとなった。



(3) PTA講演会

「がんについて学ぼう」

講師：群馬大学情報学部 准教授 片山 佳代子 医学博士

日曜参観に引き続き、保護者と4～6年の児童が参加して、「健診の重要性」と「健康サポーター」になって大切な人の健康を守ることを学んだ。



(4) 健康についてのミニ講話

「教えて 鈴木先生」

講師：利根中央病院 総合診療科 鈴木 諭 家庭医療専門医

低学年と高学年の2回に分けて実施。健康について、いただいている疑問に答えてもらう形での児童参加型の講話を行った。

最後に、自分の体のことは自分が一番よく分かっているの、いつもと違うなと感じたら大人に相談していくと良い、ということをお話してもらった。



(5) がん体験者による講話

○阿蘇 敏之さん来校（神奈川県がん患者団体連合会より）
～正しい知識と予防 自分にできることを考えよう～

○4・5年生対象

- ・がんの診断を受けて、治療開始
- ・治療方法について
- ・20年ほど前に治療を行い、再発。
- ・周りの人の支え
- ・がんになったことで、家族のコミュニケーションが増えた。



(6) 健康に関するアンケートの実施と分析

- ①食べ物は好き嫌いなく食べていますか？
- ②体を動かすことは好きですか？
- ③休み時間や家庭で、外で遊びますか？
- ④学校から治療をすすめられたら（保健室から治療の紙をもらった）、すぐ病院に行きますか？
- ⑤学校に登校する日は、前日何時に寝ていますか？
- ⑥病気になったとき、面倒を見てくれる人は誰ですか？
- ⑦家でよくおかしを食べたり、よくジュースを飲んだりしますか？
- ⑧病気やけがをした時は、すぐに病院に行きますか？
- ⑨病気やけがをした時は、すぐに病院に行きますか？
- ⑩9で「きらい」と答えた人は、その理由を書いてください。

*10項目のアンケートを行ったが、特に目立って低い（悪い）結果はなく、健康を維持することへの心がけが感じられた。

④その他の活動

(1)異学年交流

- ・6年生による1年生へのボランティア活動
- ・1・2年生一学校探検・遠足のグループ活動
- ・1・2年生一生活科「遊び名人」
- ・なかよし集会（1・6年生、2・5年生、3・4年生での交流）
いじめ防止活動として、企画委員会が計画・実施した。



(2)委員会活動

- ・整美委員会によるうさぎ当番（1・2年生）へのお手伝い
- ・図書委員会による1年生への読み聞かせ
- ・放送委員会によるお誕生日の子の紹介

成果と課題

☆成果

- ・保健講話を行ったことで、健康に関する興味・関心を児童にもたせることができ、よいきっかけとなった。
- ・がんは、早期発見・治療を行えば、それまでとあまり変わらない生活ができるので、必要以上に恐れる必要がないことを学習したり、元気に生活している人の話を聞いたりしたことで、前向きに頑張ろうという気持ちをもつことができた。
- ・がんについて知るだけでなく、今、自分ができることを考えられた。早く寝よう、好き嫌いをしないで食べよう等、児童の行動にもあらわれた。

★課題

- ・保健講話は、テーマを病気について絞っていくと、がん教育につながっていく。
- ・指定が終わったり、担当が入れ替わったりすると、良い取組であっても継続することが難しくなるので、持続可能な取組にしていくことが大切。